

第5回和光市環境基本計画市民策定委員会 要旨

日時 平成22年6月21日(月)
午後2時00分～4時00分
場所 和光市役所5階 502会議室

出席委員：黒澤委員長、松田副委員長、東委員、渡辺委員、小林委員、高橋委員、都築委員、友國委員、本橋委員、金子委員、北畑委員、柳下委員、今里委員、伊澤委員、矢嶋委員、廣川委員

事務局：環境課長(中蔦)、環境課長補佐(丸山)、統括主査(川野)、統括主査(平川)、主事(堀井)

傍聴者：なし

1. 概要

次第のとおり。

2. 議題

(1) 環境に関する課題の取りまとめ

黒澤委員長から、市内視察後の意見をまとめた資料を基に、環境に関する課題の取りまとめを行う旨説明があり、それを念頭にして各委員に意見を求めた。

[意見の概要]

- ・市のそれぞれの計画・施策の相互の関連を明らかにした上で、どこに重点を置くかを定めるべきだ。
- ・環境基本計画に関連する項目についても、施策の上で漏れなく網羅してほしい。
- ・「安全に都市計画を行う」というように、同じ項目の中に対立概念が含まれる場合、その調整を行ってほしい。
- ・どこを議論するかははっきりして、ギャップのすり合わせをしてほしい。
- ・実行できる内容にするように、テーマを絞ってほしい。
- ・他の計画がどれほど環境基本計画に影響を及ぼせるかが気になる。
- ・ゴミ捨て禁止看板などの行政の掲示物が景観を悪くしている。
- ・緑被率など、和光市にとって重要と思われるものに重点が置かれるべきだ。
- ・相続税の問題で、アグリパーク周辺の農地が減少している。
- ・個々の問題に環境的な視点を及ぼせる大きな政策を吸い上げて、環境基本計画に導入すべきだ。
- ・議論の所在をはっきりすべきだ(施策か、計画か、意見の吸い上げか)。
- ・一人ひとりの意識を喚起して、方針を定めるべきだ。
- ・具体的にモデルケースとすべき町を参考にして計画を作ってはどうか。
- ・和光市にも人を呼び寄せることができる魅力づくりが必要だ。
- ・市民調査を実施し、和光市にとって何が重要かを提案してもらうべきだ。
- ・地球温暖化の対策は、各家庭でできる省エネを進めればよい。緑化は、ヒートアイランドを防止することもできる。和光市は都心に近い割に緑が多い。
- ・個人・企業・公共の土地を区分して、守るべきものは意識的に守るべきだ。
- ・昔の街並みを変えてまで行う環境整備は、本当に環境にいいとは言えないと思う。

(2) その他

事務局から各委員に対し、環境基本計画における、和光市にふさわしい目指すべき将来像・テーマを記入する様式を送付するので、期限までに提出していただく旨お願いがあった。また、次回の委員会は8月2日（月）午後2時から行う予定である旨説明があった（場所は後日決定）。